



健やか豆知識

第16回

Q. 手足口病の一番効果的な 予防法はどれでしょうか?

- Ⅰ ワクチン Ⅱ 手洗い Ⅲ うがい



手足口病は、食欲低下による脱水症状に気をつけて。

手足口病はその名の通り、手や足、口の中に水疱性の発疹が出る病気で、乳幼児を中心に夏に流行します。2011年以降、隔年で大流行して注目されています。

手足口病は、数種類のウイルスが原因で引き起こされる感染症で、ウイルスの種類によっては手足や口だけでなく、腕や太もも、お尻などにも発疹が広く出ることがあります。一度かかって別ウイルスによって何度もかかることがあるうえ、感染しても症状が出ない場合も少なくありません。なお、近年の流行の症状として、1ヵ月後くらいに手足の爪が剥がれ落ちることがありますが、自然に治るので安心してください。

感染経路は飛沫感染や接触感染のほか、便に排泄されたウイルスから感染する糞口感染もあります。特に、乳幼児が集団生活を送る保育施設や幼稚園での感染に注意が必要です。

手足口病には有効なワクチンはなく、発病を予防できる薬もありません。そのため一般的な感染予防は、手洗いをしっかりすること、排泄物を適切に処理することが大切です。

基本的には軽い症状で数日間のうちに治りますが、高熱が出る、発熱が2日以上続く、水分が摂れずにおしっこが出ない、ぐったりとしている、嘔吐や頭痛などの症状がみられたら、医療機関を受診しましょう。口の中に水疱ができると食欲が落ちるので、水分をこまめに摂らせて脱水症状にならないように十分注意してあげてください。

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —
高田製薬株式会社

監修 馬場 直子 神奈川県立こども医療センター 皮膚科 部長

< Ⅱ 掘玉 > さらに詳しい情報は
ホームページで!

